

2号みなしの利用者様が65歳を迎えられた場合

2号みなしの利用者様は生活保護法介護券が交付されており、「H」から始まる被保険者番号が与えられています。65歳を迎えられると介護保険被保険者証が交付され、新しい被保険者番号が与えられます。介護保険の制度では、利用者様の名前ではなく被保険者番号でその利用者様を特定します。よって、被保険者番号が変われば同じ利用者様であっても、それぞれの台帳を作成する必要があります。

■2号みなしの利用者台帳

- ① 生活保護法介護券に記載されている「H」から始まる被保険者番号を入力します。
- ② 2号みなしの利用者は介護保険からではなく生活保護法から給付される為、保険給付率は0%で入力します。
- ③ 1号とは別のIDで台帳を作成します。

■1号の利用者台帳

- ① 介護保険被保険者証に記載されている被保険者番号を入力します。
- ② 介護保険被保険者証が交付されている利用者様の保険給付率は通常、90%or80%を入力します。※1
- ③ 2号みなしとは別のIDで台帳を作成します。

※1：給付率は介護保険負担割合証を参考にして入力します。
介護保険料滞納による3割負担の場合は70%で入力します。

利用票（提供票）の作成

■2号みなしの利用票(提供票)

利用者コード 000011 履歴 番号 H123456789 作成年月日 平成__年__月__日 000001

利用者名 大阪 一郎 届出年月日 平成18年01月01日 ケアマネ

要介護状態区分 25-要介護5 訪問通所支給限度額 36065単位 認定有効期間 平成27年08月01日 平成29年07月31日

変更後要介護度 居宅サービス適用期間 平成27年08月01日 平成29年07月31日

変更日 平成__年__月__日 居宅介護支援事業所 000001-ケアプラン事業所

前月までの短期入所利用日数 0日

開始時間	サービス名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計
09:00	身体1号付1																															6	
10:00	訪問介護事業所	1					1																									0	

支給額 36,065単位 使用額 1,872単位 支給残 34,193単位 請求額 1,872単位

- ① 利用者台帳で、2号みなしで入力した基本情報で利用票(提供票)を作成します。
- ② 2号みなしの期間で行った日数のサービスのみ入力します。※.1

■1号の利用票(提供票)

利用者コード 000010 履歴 番号 2712345678 作成年月日 平成__年__月__日 000001

利用者名 大阪 一郎 届出年月日 平成28年07月15日 ケアマネ

要介護状態区分 25-要介護5 訪問通所支給限度額 36065単位 認定有効期間 平成28年07月01日 平成30年12月31日

変更後要介護度 居宅サービス適用期間 平成28年07月01日 平成30年12月31日

変更日 平成__年__月__日 居宅介護支援事業所 000001-ケアプラン事業所

前月までの短期入所利用日数 0日

開始時間	サービス名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計
09:00	身体1号付1																															7	
10:00	訪問介護事業所																															0	

支給額 36,065単位 使用額 2,184単位 支給残 33,881単位 請求額 2,184単位

- ① 利用者台帳で、1号で入力した基本情報で利用票(提供票)を作成します。
- ② 1号の期間で行った日数のサービスのみ入力します。※.1

※.1：2号みなしから1号に変わるのは誕生日の前日から変わります。認定の有効期間で判断することができます。

